

# 第64回新潟県保育研究事業研究大会

## 意見発表で園の取り組みを発表しました!

令和元年5月24日(金)胎内市産業文化会館

子どもは未来につながる社会の宝  
親だけでなく地域社会みんなで育てたいな  
子育ては親育ち 保育者育ち  
子どもと一緒に自分たちも育っていきたく  
かけがえのない命の育み

第2分科会 保育の社会化に向けて  
～保育の営みをいかに社会に発信するか～



さまざまな人との交流を通じて育めるコミュニケーション能力  
他人の苦しみや喜びへの共感・共苦  
異状況にある人、異文化、異価値観  
などをおもしろく感じる感性・・・  
楽しく、心が動く体験



メロディオンや水  
笛・みしま特産の竹  
などで効果音を作り、  
見て聴いて楽しい発  
表になりました

第2分科会  
保育の社会化にむけて  
～保育の営みをいかに社会に発信するか～

司会者	上越市・聖母保育園 園長	茂原 美智子
助言者	新潟県立大学 教授	小池 由佳
意見発表者	新潟市いたくら保育園 園長 新潟市立中之口こども園 園長 西川村立下西保育園 主産保育士 長岡市・みしま中央こども園 園長 妙高市立まわり保育園 園長 妙高市立久代保育園 園長	藤田 芽美子 八木 智美 堀 香織 岩本 久美子 牛木 良子 東 條 奈津子

少子化や核家族化が進むなか、社会における人と人、とくに子どもと大人がつながる場面が少なく  
なりつつあり、社会における子ども、子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て  
を家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子ども  
を養育できる社会づくりに向けて大切です。  
本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた協働活動の展開により、広く地域や国民に対し  
て子ども、子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みに  
ついて、研究を深めます。

【研究の視点】

- 子どもと地域の人びととの接点づくりへの取組
- 地域生活に保育所・認定こども園等への参加を深めよう取組
- 子育て支援活動への参加のきっかけをひろげ、子育てコミュニティの創出について
- 老若男女が関わる子育て文化の創出や子育て支援活動の開始、普及への取組

毎月の誕生日会のテーマに  
絵本の世界を取り入れていま  
す。お皿をキャンパスにし  
て主人公や絵本に込めら  
れているメッセージをラン  
チプレートに表現し、物語  
の世界でのランチを楽しん  
でいます♪



三島の名水  
『縄文雪つらの水』を自分たち  
で水くみに行き、おいしいお茶を  
いれます。



テーブルを拭いたり、お  
皿洗いをしたり、自分た  
ちで出来ることを楽しみ  
ながら体験しています。



## 子どもは未来のたからもの

虫も草も山も水も・・・ みんな みんな 大切な命  
自然の中で生かされて 日々、たくさんの命との出会いを  
大切にたがえ 伝え ひろがり めぐって・・・ 世界中の子  
ども達の輝く未来に  
色とりどりの“夢の種”をまき続けていきたい



毎月の誕生日会のテーマに絵本の世界を取り入れている。  
絵本からの温かいメッセージをお楽しみに取り入れています。  
誕生日会終了後の給食までの時間に、保護者が考えた工作や絵  
本の読み聞かせ、楽器の演奏・手品など子どもたちと過ごす楽  
しさを味わいながら、保育参加をしてもらっています。



くろもじの枝を切ったり削っ  
たりした、のこぎりと小刀は  
三島町の特産品です。三島が  
のこぎりの町として有名に  
なった「中屋庄兵衛物語」を大  
型紙芝居と寸劇を交えて、子  
どもたちに地域の歴史も伝え  
ました。これからも、子ど  
もたちが地域の宝である里山  
に誇りと愛着が持てるよう  
に、取り組んでいきたいと思  
います。



みしまの町を走り抜け新緑の  
里山を走る地域行事の1つ。  
5歳児はマラソンランナーに  
きれいな道を走ってもらおう  
とボランティア活動に参加し、  
地域と協力しながらイベン  
トを作り上げている。



みしま中央こども園  
理事長 櫻井 守  
園長 岩本 久美子